

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応

2025年5月15日



高圧ガス工業株式会社



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

現状認識

長年PBR1倍割れの状態が継続

利益は每期着実に伸長する一方、ROEは株主資本コストを下回り、将来の成長期待を示すPERも低位にある状況

今後に向けて

社会から必要とされ、信頼される企業グループをめざすために、資本市場からの評価を能動的に高めていく必要

**高圧ガス工業グループは資本市場と真摯に向き合い
資本コストを上回るROEの実現とPERの向上をめざします**

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

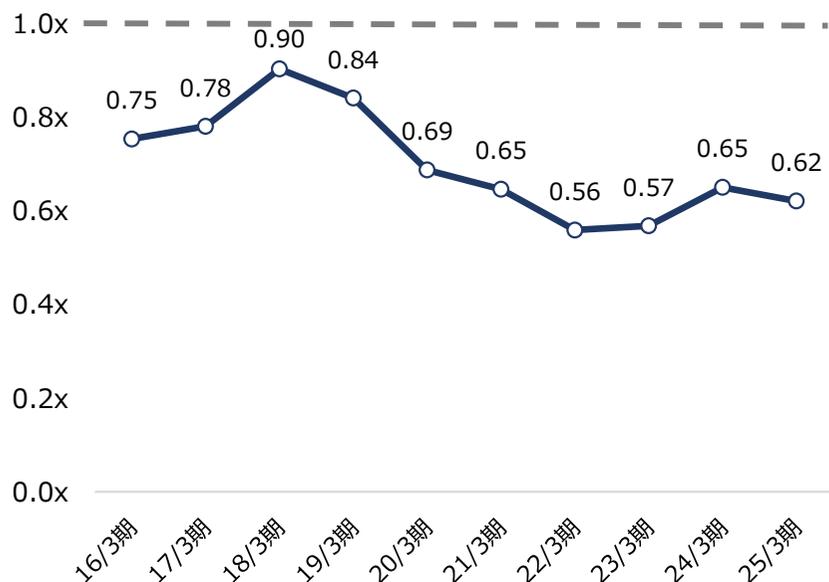
<p>事業戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業であるガス事業・化成品事業・ITソリューション事業・食品添加物事業の充実 新商材の研究開発、ベトナムを中心としたアジア圏への海外展開など新規市場の開拓による収益を生む事業の拡大
<p>財務戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> 政策保有株式の縮減による資産効率の改善 資本の過剰な積み上がりを回避するため、定量的な株主還元方針を策定 投資とのバランスを保ちつつ、株主還元を積極化
<p>サステナビリティ (市場との対話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開示資料の拡充や投資家との対話を強化、市場の期待感の醸成をはかる 「安全・安心」を念頭に置いた全社的なサステナビリティへの持続的な取組みを推進し、中長期的な企業価値向上につなげる



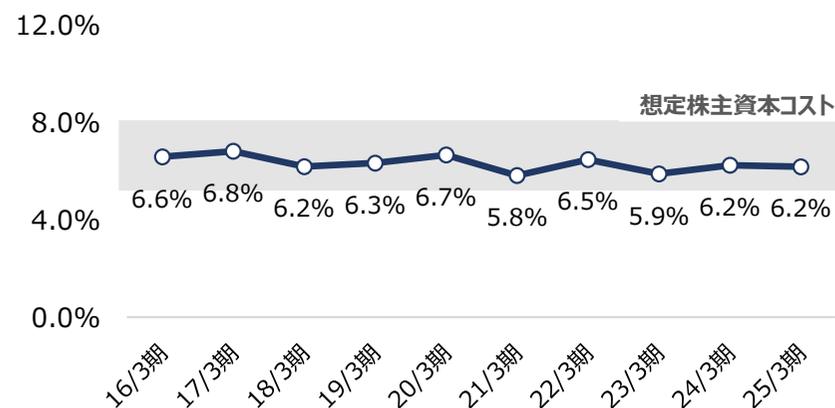
現状分析：市場評価

- PBRは1倍を割り込む水準で推移。PBRの上昇基調を定着させることが急務の状況
- PBRの向上に向け、株主資本コストを上回るROEの実現とPERの切上げ（期待感の醸成）の双方の取り組みが必要と認識

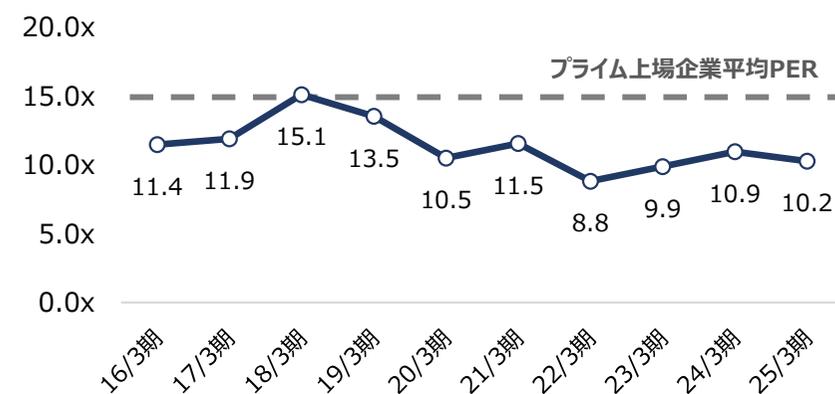
PBR



ROE



PER

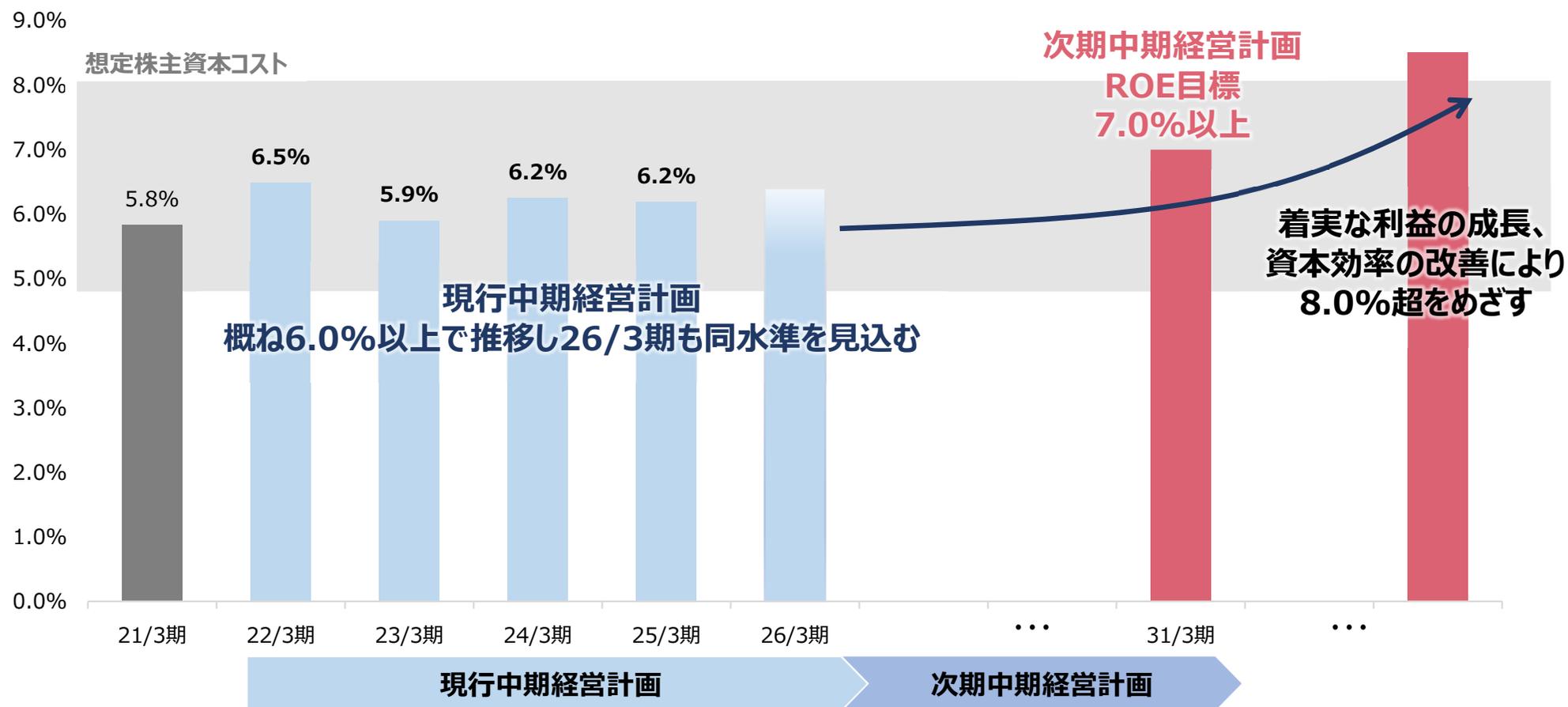




現状分析：ROE－株主資本コスト

- 当社が認識する株主資本コストは5～8%程度（CAPM、残余利益モデルにて試算）
- 現状のROEは株主資本コストを下回る水準にあり、株主資本コストを上回るROEの実現が必要
- 経営目標としてROE目標を新設し、ROE向上をめざす

ROE推移

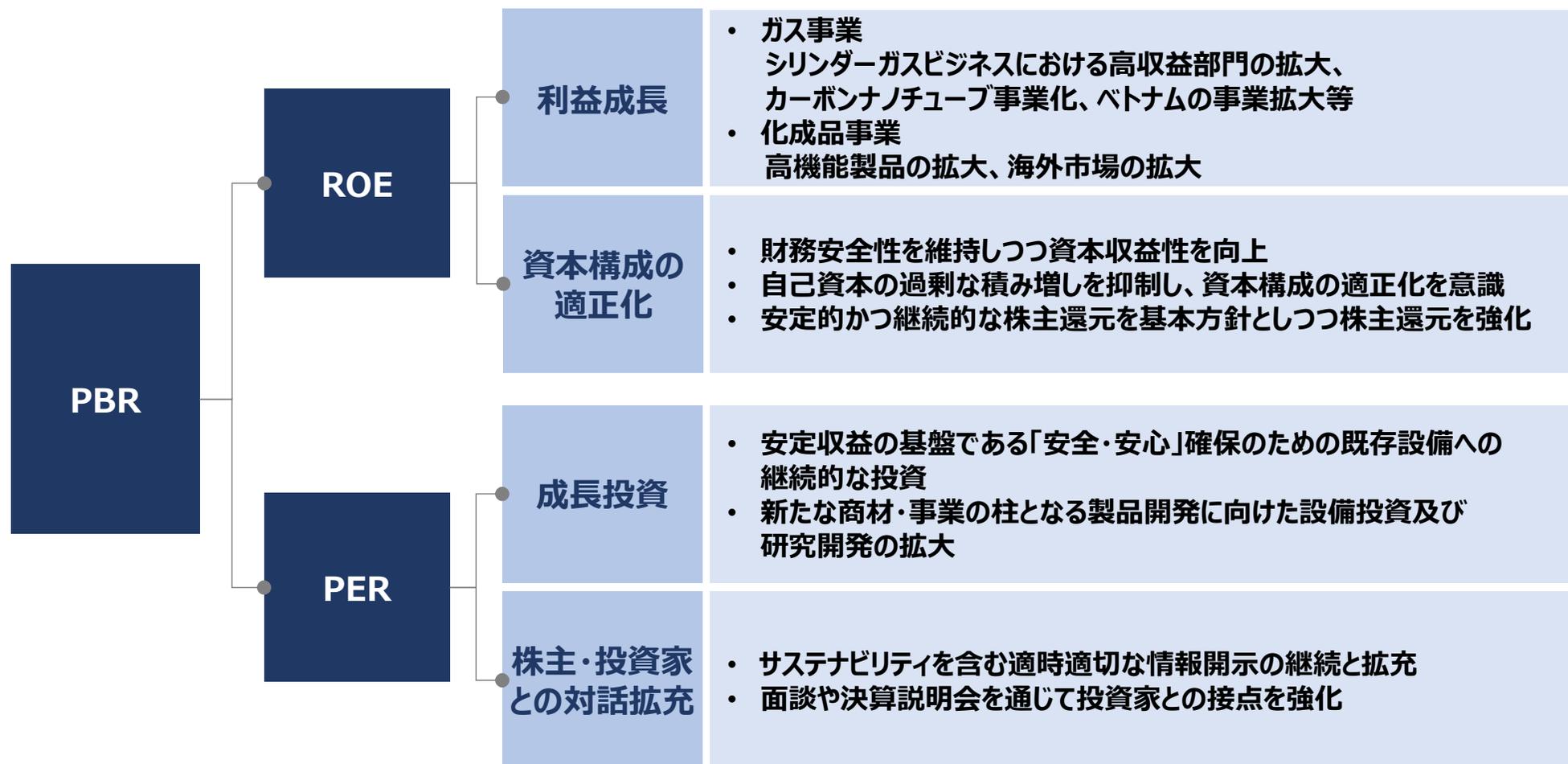




企業価値向上に向けた取り組みの全体像

- PBR1倍超を実現するために、ROE・PER双方の向上をめざす
- ROE向上に向けては、主力事業拡大による利益成長及び資本構成の適正化に取り組む
- これまでの市場との対話姿勢を見直し、対話拡充の施策を実施

企業価値向上に向けた取り組み





企業価値向上に向けた取り組み：経営指標目標

- 現行中期経営計画における従来の目標に、ROE・株主還元に関する目標を追加
- 利益成長とバランスシートマネジメント(株主還元等)の両面に取り組み、次期中期経営計画最終年度でROE7.0%以上をめざす

数値目標

		25/3期 実績	26/3期 予想	次期中期経営計画 最終年度 方針※ 31/3期
業績	売上高	989億円	目標 1,000億円 1,020億円	
	営業利益	59億円	70億円 63億円	
	営業利益率	6.0%	7.0% 6.2%	
新設				
資本収益性	ROE	6.2%	6.0%以上	7.0%以上
株主還元		配当性向 23.0% DOE 1.4%	配当性向50.0%を目安に DOE2.5%を下限	利益成長に応じて 拡充を検討

※具体的な目標は次期中期経営計画の中で公表を予定（26年5月予定）



企業価値向上に向けた取り組み：事業戦略（利益成長）

- 現行中期経営計画では、収益拡大・収益性向上のための設備投資を実行し、メーカーとしての事業基盤を強化
- 新規事業の柱となる新商材の研究開発が進展し、事業化実現に向けた成果が着実に蓄積
- ベトナムでの事業投資を拡大し、新規市場獲得のための基盤強化が進行

事業戦略

現行中計経営計画の取り組み状況

今後の中長期方針

ガス事業

- アセチレンの非燃焼分野に係る用途開発
新たな浸炭技術『常圧スマート浸炭』の開発・実証
カーボンナノチューブの量産開発
- 事業基盤の強化
M&Aによる事業拡大
生産拠点、営業拠点の統廃合
- 海外市場への進出
ベトナムでの事業開始



研究開発中の
カーボンナノチューブ

- シリンダーガスビジネスにおける高収益部門
（半導体向けガス・特殊ガス）の拡大
- カーボンナノチューブの事業化
- ベトナムでの事業拡大
- M&Aを含めたサプライチェーンの最適化

化成品事業

- 新商材の開発
UV硬化型接着剤『ペガロックUV』『シアノンUV』
サンドブルーフシリーズ『金属屋根用』『衝撃吸収材』
高耐候性塗料
- 甲賀工場建設による生産能力の拡大
- 東南アジア新興国への展開
ベトナム製造販売子会社の投資拡大
ベトナム・タイ向けの販売強化



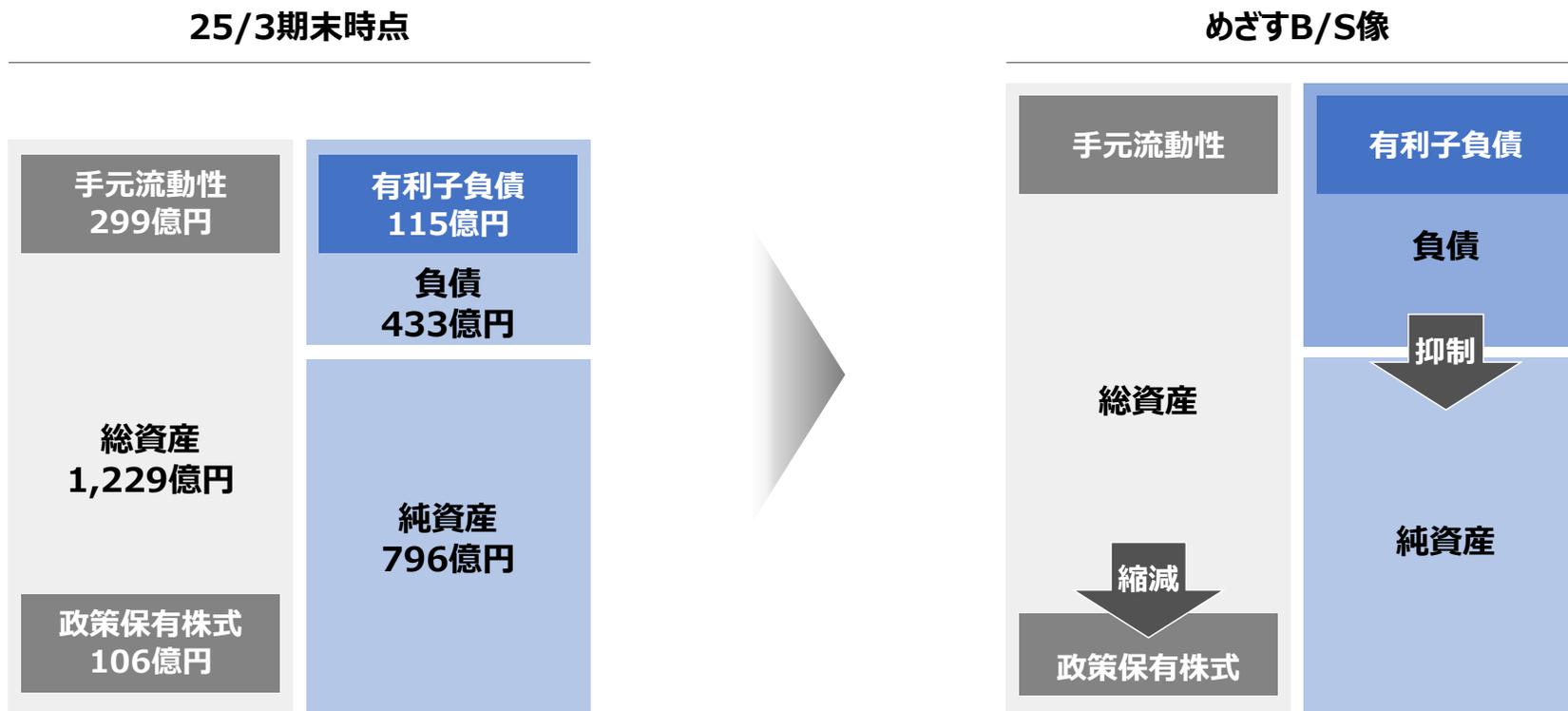
24年6月に完成した
甲賀工場

- 高機能製品の拡大
- 生産規模の拡張及び生産稼働率の向上による
収益性の強化
- 海外市場の拡大
（ベトナム・東南アジア・欧米向けの拡販）



企業価値向上に向けた取り組み：資本構成の適正化

- 株主還元方針を見直し。株主還元強化により資本の過剰な積み増しを回避
- 財務安全性を確保しつつ、必要に応じて有利子負債の活用を検討



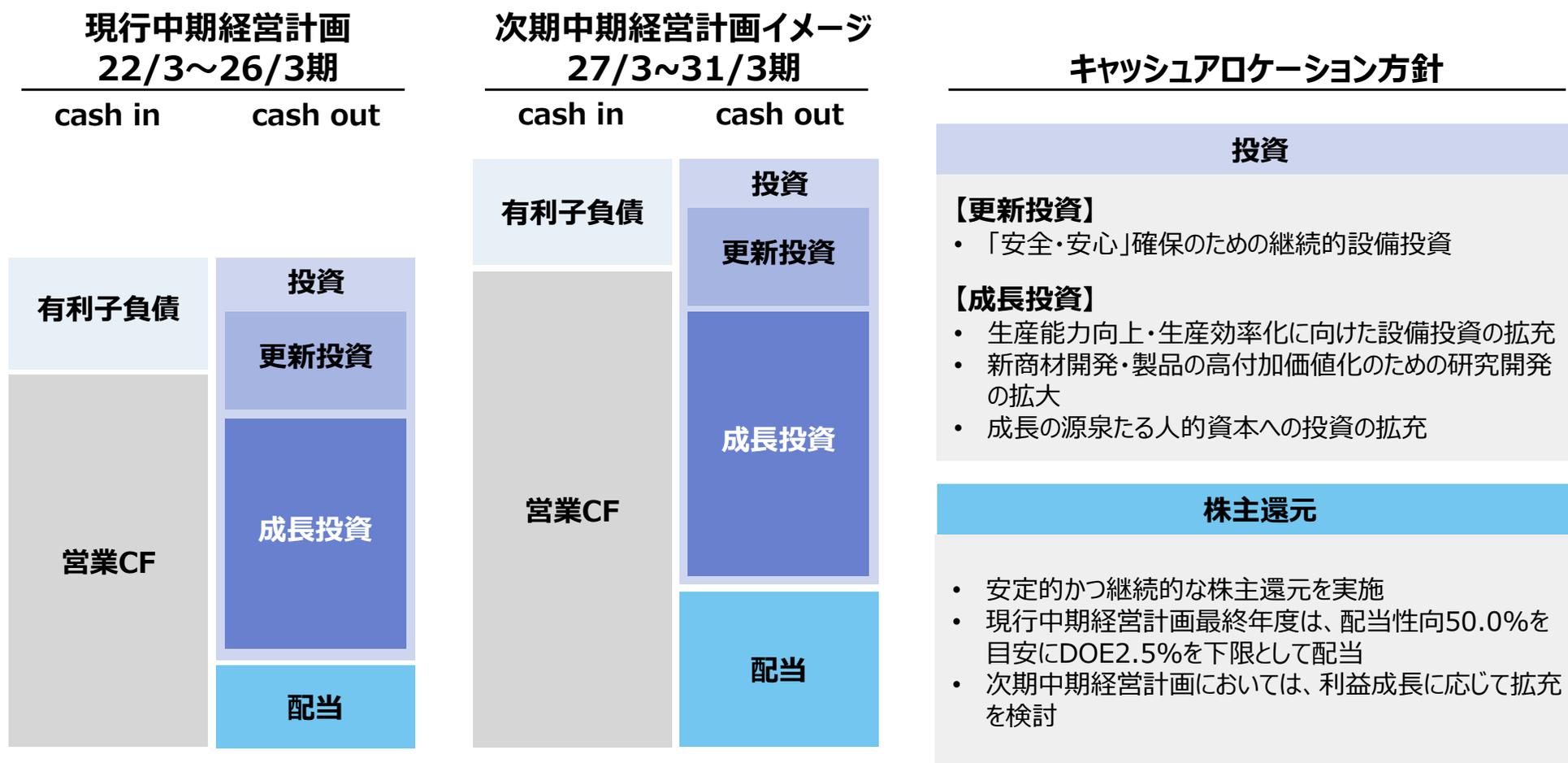
- 株主還元方針の見直しにより自己資本の増加を抑制
- 政策保有株式の縮減に取り組み、売却資金は株主還元へも活用
- 財務安全性を勘案しつつ必要に応じて有利子負債の活用を検討



企業価値向上に向けた取り組み：キャッシュアロケーション

- 創出される営業CFは成長投資に優先的に分配、必要に応じて有利子負債の活用も検討
- 配当は配当性向50.0%を目安にDOE2.5%を下限とする方針に見直し、株主還元を強化

キャッシュアロケーション

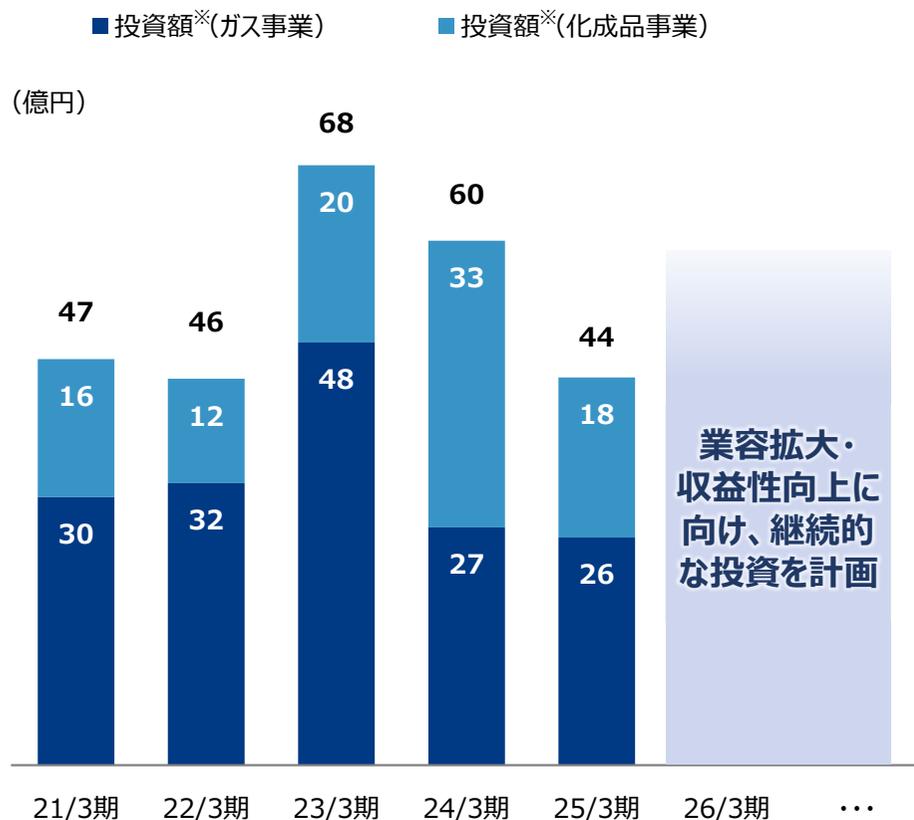




企業価値向上に向けた取り組み：投資

- 業容拡大に向け、安定収益基盤を強化するための既存設備への継続投資や、新たな商材・事業の柱となる製品開発のための設備投資及び研究開発を拡大
- 収益性向上をめざし、製品の高技術化・高性能化に向けた技術開発・研究開発を強化。設備の設計・導入、生産の省力化・省エネ化・合理化を実現すべく、生産オペレーションの見直しを計画

投資



※投資額は更新投資と成長投資の合計額

主な投資計画

ガス事業

- 半導体向けガスに関する設備投資
- 特殊ガス製造設備の増強
- カーボンナノチューブの量産設備の導入
- 研究開発投資の強化（産官学連携・共同研究開発等含め）
- 産業ガス分野におけるM&A

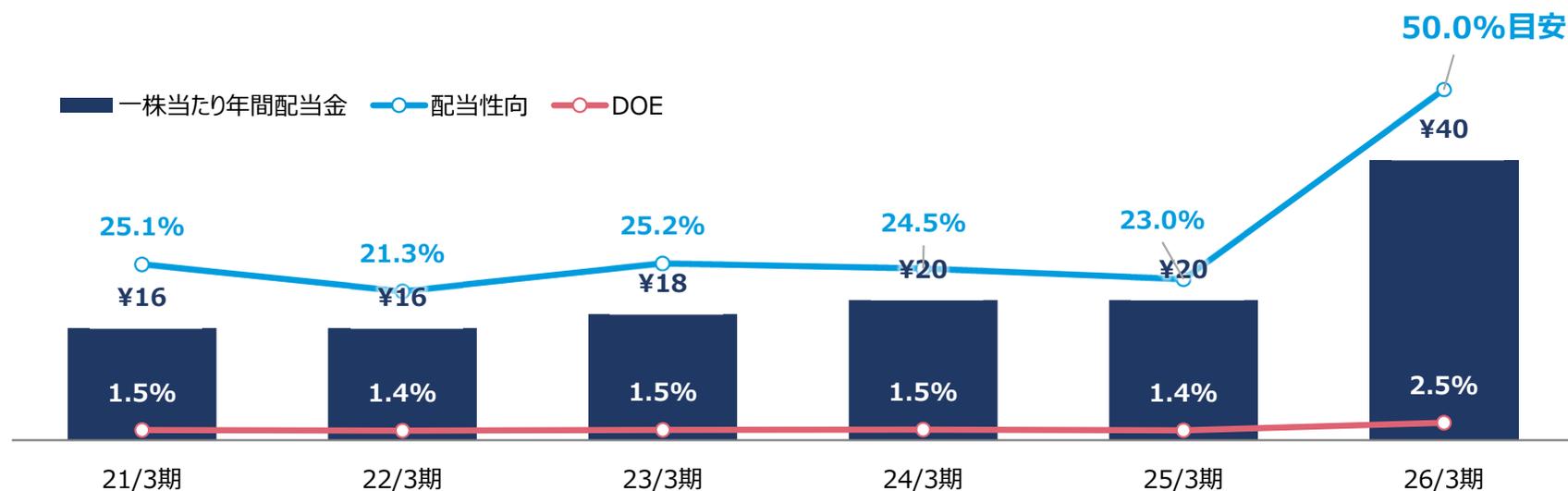
化成品事業

- 高機能製品の研究開発及び設備投資（産官学連携・共同研究開発等含め）
- リサイクル商材の研究開発
- 甲賀工場の設備増強
- ベトナム工場の設備増強



企業価値向上に向けた取り組み：株主還元方針

- 資本構成の適正化と自己資本の過剰な積み増しを回避するため、株主還元方針を見直し
- 安定的かつ継続的な配当を実施する基本方針の下、26/3期は配当性向50.0%を目安にDOE2.5%を下限として配当を実施する方針。また、機動的な自己株式取得も適宜検討



現行中期経営計画



企業価値向上に向けた取り組み：サステナビリティ

- 社会課題への積極的な対応が経営上の重要課題と認識
- サステナビリティ領域の取り組みも推進することにより、中長期的な企業価値向上をめざす

サステナビリティの推進



サステナビリティの実現に向けた取り組み

環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動への取り組み <ul style="list-style-type: none"> • TCFDのフレームワークに沿ったシナリオ分析の実施 ■ 環境にやさしい製品への取り組み <ul style="list-style-type: none"> • 環境配慮型製品の開発・拡販（水系接着剤・遮熱塗料・高耐候性塗料・制振性製品等）
社会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会への取り組み ■ 人材への取り組み <ul style="list-style-type: none"> • 変化する社会環境への対応 • 人を活かす企業へ • 人材・組織の多様化
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガバナンス・リスク管理体制の拡充 <ul style="list-style-type: none"> • 代表取締役を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、SDGs・気候変動等に関する対策を立案・推進 ■ 株主・投資家との対話



企業価値向上に向けた取り組み：サステナビリティ

- サステナビリティ領域の取り組みとして、特に重要と考える人的資本への積極的投資を実施
- 企業価値最大化をめざすべく、株主・投資家との建設的なエンゲージメント活動を強化

サステナビリティに係る主な取り組み

社会：人材への取り組み

- 従業員は会社を作っていく源泉。人材への取り組みは最重要課題と位置づけ
- 以下の取り組みを通し、人的資本を意識した経営を実践
 - 従業員に対する人的投資の拡充
 - ・ 長期キャリア形成を見据えた給与水準の継続的な引上げ
 - ・ 人材育成のための教育・研修制度の拡充
 - ・ 福利厚生制度の充実化
 - 変化する社会環境への対応
 - ・ 新卒・中途採用活動の拡充
 - ・ 安心していきいきと働ける職場環境の整備
 - 人を活かす企業へ
 - ・ スキルアップに向けた支援の拡充（若年層向け階層別研修・リーダーシップ・マネジメント力醸成のための管理職研修）
 - 人材・組織の多様化
 - ・ グローバル人材の積極的採用・育成
 - ・ 障がい者雇用の促進・環境整備

ガバナンス：株主・投資家との対話

- 25/3期は新たに統合報告書を開示。引き続き情報開示や投資家との対話強化に取り組む
- 投資家との対話を通して認識した課題は取締役会に報告 経営施策に適宜反映
 - 適時適切な情報開示の継続・拡充
 - ・ 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の開示（本資料）
 - ・ サステナビリティに係る各種情報の開示
 - 投資家との接点強化
 - ・ 25/3期の本決算発表より、決算説明会を開始
 - ・ 投資家との個別面談についてはIR担当を中心に引き続き前向きな取り組みを継続

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料は、企業情報の提供のために作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

人と技術と環境の調和



高圧ガス工業株式会社
KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.